



嵯峨の福祉

第148号

嵯峨自治会連合会
嵯峨社会福祉協議会

第25回 京都嵯峨学園三校交流 子どもすもう大会

京都嵯峨学園三校交流子どもすもう大会は、嵯峨小学校、嵐山小学校、広沢小学校三校の児童が、すもうを通して礼儀作法や真剣勝負のすばらしさを学び、交流する伝統行事で今年25回目を迎えました。主催は三校のPTA、後援 公益財団法人嵯峨教育振興会、協力 京都府相撲連盟、嵯峨中学校です。

6月27日9時から広沢小学校体育館で行われました。会場も三小学校持ち回りでしたが、最近では、参加者や応援に来てくださる保護者の方が多くなり、広い会場の広沢小学校で開かれています。土俵マットは、スポンジ使用でけがをしないように工夫されています。マットや子どもたちが締めるまわしも公益財団法人 嵯峨教育振興会の助成を頂いています。



開会式では、嵯峨教育振興会 井上理事長、藤本右京区長の挨拶があり、準備体操の後、両洋高校の女子相撲部の模範演技もありました。1年前には、広沢小学校出身の相撲力士の鳴滝さんにきていただきました。

そして、まず個人戦が3年生から6年生、各学年別男女別で行われました。

続いて嵯峨小と広沢小の特別対抗戦があり、そのあとが三校団体戦でした。3名ずつの対抗で、子どもたちの熱の入った取組が行われ、保護者の方からも熱い声援が送られていました。

たろう会「己書」に挑む！ これが私の「己書」

6月27日（土）のたろう会は「己書」に挑戦しました。スタッフ含め約25名、日本己書月香道場の三浦真美先生を迎え、“味のある字”を絵筆と墨汁を使って色紙に描きました。まずは己書独自の描き方を裏紙に練習しました。「う・ら」の一画目はぐるぐる丸で、「笑」はえがおに見えるように描く。横線は右から、縦線は下から、普段の書道とは違う書き順に「むずかしい〜」とこぼしながらも全力集中。先生から「みなさん上手です！」とほめていただき、その気になっていざ色紙へ。

いつもと違うことをすると、日常あまり使われていないとされる右脳を刺激する『脳活』になるそうです。己書が大切になっているのは、“人と比べない”“自分を解放して楽しむ”ことだそうで、集中して自分の作品を仕上げたあとは「どれもすてきね」「楽しかった」と、みなさんの晴れやかな様子が印象的でした。



買い物支援『ダイエー移動販売』、健光園でもスタート！

買い物が不便とお声のあった嵯峨北部地域をカバーすべく、自治連・社協が主体となって支援を始めた移動販売ですが、第2番目として7月28日より、大覚寺バスターミナル西側の養護老人ホーム「健光園」でも始まりました。独自のコミュニティカフェの営業もありますので、買い物、ふれあいの場としては是非ご利用ください。

- ・日時：毎週 火曜日 14時30分～15時00分
（悪天候などで実施不可の場合もあります）
- ・場所：養護老人ホーム「健光園」玄関前
- ・商品：生鮮食料品、お米、お菓子類、日用品など約600品目
- ・価格：ダイエー店頭価格、ただし5品までは1品あたり11円（上限55円）の手数料がかかります
- ・なお、高齢者施設「そよ風」での移動販売も引き続きご利用頂けます。



左の2次元コードから
全ページのカラー誌
面がご覧になれます。

題字左のカット画像は、吉川祥子さんをお願いしております。

『昔を今に～嵐山千本桜プロジェクト～』

嵐山保勝会 常任理事 古川 拓也

春に山を染め人々を魅了する桜の嵐山。その起源は鎌倉時代、後嵯峨上皇が天龍寺付近に離宮を構えた際、嵐山を眺めて「吉野のような桜の景色が欲しい」と所望され、吉野から桜を取り寄せた故事にあります。この出来事が現在の桜の嵐山の始まりです。

嵐山は長く人の手で庭園のように管理されてきましたが、明治4年に天龍寺領から国有林となり治山目的の予算は付くものの景観保全の予算は認められず状況が変化しました。自然災害や害虫、獣害、老木化で倒木が増え、その跡に常緑樹が繁り巨木化し、他の木々の日照を奪って勢力を広げ桜は減少の一途を辿ります。それに危機感を抱いた嵐山保勝会は昭和57年から2月25日を育成植樹の日とし、地元小学生と桜や楓を植えてきましたが、上記の原因から桜は思うように育ちませんでした。

さらにコロナ禍で植樹活動は三密回避の為に中止となり、小学校とのつながりも途絶えてしまいました。しかし絶望の中で「観光＝国の光を見る」という語源のように嵐山に再び光を取り戻すべく、後嵯峨上皇の故事を現代に再現しようと決意。吉野山保勝会や旅館組合との協力を得て『昔を今に～嵐山千本桜プロジェクト～』を立ち上げました。吉野の白山桜を毎年50本譲り受け、20年かけて嵐山国有林に1000本の桜を植える計画です。

来年で5年目を迎えるにあたり、嵯峨幼稚園・嵐山小学校・嵐山東小学校・松尾小学校に苗木を1年間お預けし、2月に返してもらい植樹する仕組みが整いました。子どもたちが桜の山の保全に参加する循環が生まれ、桜の嵐山の復活と次代の嵯峨嵐山を守る担い手の成長を願い活動を続けています。

後記 嵐山山中には天龍寺の飛び地境内があり、そこに蔵王権現堂という小さな祠があります。秋の繁忙期の前に感謝のしるしとしてお堂を掃除するのですが毎年のことながらなぜ山中にお堂があるのかわかりませんでした。本事業で吉野へ何度も伺ううちに金峯山寺では開祖が桜の木でご本尊を彫られたことから桜をご神木として扱われていること知ります。ご神木である吉野の桜を嵐山に移す時にご本尊の蔵王権現も嵐山に分祀されたのではと考えると長年の疑問が解けました。

※盗難を避ける為、蔵王権現像は天龍寺に移設され、現在お堂には像はありません。



初年度に天龍寺で咲いた
吉野の白山桜



花ごよみ

ホトトギス（杜鵑草）

ホトトギスはユリ科ホトトギス属の多年草で、晩夏から晩秋にかけて咲かせる花です。弁の斑点が鳥のホトトギスの胸の模様似ていることから名づけられました。花は星の形で、特徴的な斑点が入り野性味のある花です。花言葉は、「永遠にあなたのもの」「秘めた意志」は、晩夏から晩秋までの長い期間ひたむきに咲き続けることに由来すると言われています。



嵯峨の由来

第137号よりスタートした国際日本文化研究センター名誉教授である早川聞多さんによる「嵯峨の由来」シリーズ、第9回目は嵯峨の石佛（上）です。なお、早川さんは嵯峨小学校卒業生です。

嵯峨の石佛（上）

『徒然草』の一節に「あだし野の露、鳥邊野の煙」とあるやうに、鳥邊野の「煙」は貴族の火葬^{あだしの}、化野の「露」は庶民の野葬のことです。京都の西端にあたる小倉山の麓^{あだ}邊りは、平安時代から都の人々の野邊^{のべ}の送りをする場所であり、空海がこの地に五智山如来寺を建て、鎌倉時代には法然が念佛道場を開き、化野念仏寺と呼ばれるやうになりました。

平安時代には庶民は埋葬地に木の卒塔婆^{そとば}を立てるだけで、墓石を建てる習慣はありませんでしたが、平安末期になると埋葬地に石佛や石塔を立てるやうになりました。明治三六年頃、中山通幽等が嵯峨の野邊に埋没してゐた約八千體もの石佛を掘り出し、鳥居本の念佛寺に配置しました。なほ、嵯峨の石佛は鳥居本付近に限られてゐた譯ではなく、小倉山麓付近から嵯峨一帯に廣がつてゐたと考へられます。

さて、念佛寺の石佛群はどれも四〇センチ前後の小振りの石造物ですが、おほむね三種類に分類されます。第一は兩手の掌^{たなごころ}を上に向けて定印^{ぢやういん}を結ぶ阿彌陀如来の坐像（圖1）で、背景は舟形の光背^{くわうはい}です。第二は舟形を背景にした多寶塔^{たほうたふ}、中に多寶如来と釋迦牟尼佛が竝んで坐る多寶塔像（圖2）です。第三は地・水・火・風・空を象つた五輪塔^{ごりんたふ}（圖3）で、「地」を表す方形の基壇・「水」を表す球體の塔身・「火」を表す三角形の屋根・「風」を表す半月形の相輪^{ほうじゆ}・「空」を表す塔頂の寶珠^{ほうじゆ}の五層からなります。

第一の阿彌陀如来とは西方^{さいほう}の極樂浄土の教主であり、生あるものすべてを救ふ佛^{ほとけ}の意です。平安末期に京都で興つた阿彌陀信仰、すなはち「南無阿彌陀佛」といふ念佛を唱へるだけで誰もが極樂浄土に往生^{わうじやう}できるといふ浄土宗（法然）、浄土真宗（親鸞）などが庶民の間に盛んになります。化野念佛寺のみならず嵯峨の路傍に散在する石佛群に阿彌陀佛が多いのは、鎌倉時代に入つて都の人々の間に普及した浄土教によるものと思はれます。

第二の多寶如来とは東方^{ほうじやう}の寶浄世界の教主であり、釋迦が法華教を説いた時、地中から七寶で飾られた巨大な寶塔が出現し、寶塔の中から「釋尊よ、すばらしい。あなたの説く法は眞實である」と讃へる大音聲が聞こえ、多寶如来が自分の座を半分空けて釋迦に隣に坐るやう促したといひます。この説話に基づき、寶塔の中に多寶如来と釋迦が竝んで坐る像が作られました。「南無妙法蓮華經^{なむめうほうれんげきやう}」と唱へれば誰もが佛になれると説く法華宗（日蓮）が鎌倉中期から都の人々の間に廣まつてゐました。

第三の五輪塔とは天台密教でいふ「五大」を表します。五大とは宇宙を構成する五つの要素、「地、水、火、風、空」のことです。五輪の「輪」とはすべての徳を具備するといふ意味で、平安時代半ばから死者の墓標として佛教の各宗派で用ゐられてゐました。



圖1 阿彌陀如来の座像



圖2 多寶塔像



圖3 五輪塔



◆今回は【睡眠】

睡眠は、脳の休息や疲労回復のために必要です。また、記憶の整理や定着のためにも必要です。睡眠が不十分なときは、疲労を感じたり、意欲や集中力を失ったり、イライラします。つまり、脳の機能に不調が生じるため、脳は休息を必要としています。十分な睡眠は人によって違いますが、快適な毎日を過ごすためにも、十分な睡眠をとることはとても大切です。眠る時間にこだわることはないと言われていますが、日中に眠気や疲労を感じないで元気に過ごせるのならば、十分な睡眠をとったことになります。ぜひ、規則正しい睡眠をとりましょう。



嵯峨小児童の作品から



1年 さたがわ ゆい
『おはなばたけ』



2年 みずの ちあき
『ふしぎなたまご』

10月17日（土）10時から敬老交流会が嵯峨小学校体育館で開催されます。

出演は嵯峨小児童、ソプラノ独唱（前嵯峨小音楽教師）、北嵯峨高校。お土産（栗お赤飯とお菓子）をお持ち帰りいただきます。9月の町内回覧板のピンクの用紙で申し込んでください。対象は昭和31年以前にお生まれの方です。

令和8年度 9月～12月行事予定表

嵯峨社会福祉協議会事業ほか

月	日	曜	行 事 内 容 な ど	備 考
9	3	木	広報誌「嵯峨の福祉」第148号発行	
	9	水	カフェ名古屋	③
	12	土	たくろう会【午前中】（健康教室）	嵯峨小コミュニティルーム
	15	火	カフェしゃか	①
	26	土	たくろう会【午前中】（絵画）	嵯峨小コミュニティルーム
10	1～31		「赤い羽根」共同募金 募金活動月間	
	4	日	学区民体育祭	嵯峨小
	6	火	カフェくるまみち	②
	10	土	たくろう会（右京ボランティアグループ「まるちゃんスマホ」によるスマホと仲良くなる企画『スマホであそぼう』）	嵯峨小コミュニティルーム
	14	水	カフェ名古屋	③
	17	土	嵯峨学区の敬老交流会	嵯峨小体育館
	20	火	カフェしゃか	①
	24	土	右京区民「ふれあい文化フェスティバル」	
11	3	火	カフェくるまみち	②
	11	水	カフェ名古屋	③
	14	土	たくろう会（お楽しみプログラム）	嵯峨小コミュニティルーム
	15	日	嵯峨学区総合自主防災訓練	嵯峨小
	17	火	カフェしゃか	①
	21	土	「おやこの広場」で車イス体験、手話コーナー開設	嵯峨小体育館他
	22	日	自転車安全教室	
12			遠足	
	1～31		令和8年度右京区社会福祉協議会賛助会員募集	
	1	火	カフェくるまみち	②
	3	木	広報誌「嵯峨の福祉」第149号発行	
	9	水	カフェ名古屋	③
	12	土	たくろう会（防災教室）	嵯峨小コミュニティルーム
	15	火	カフェしゃか	①

①カフェしゃか 毎月第3火曜日10時～12時、西井頭町会議所

②カフェくるまみち 毎月第1火曜日10時～12時、JR 嵯峨嵐山駅下 京都新聞販売所北

③カフェ名古屋 毎月第2水曜日10時～12時、大覚寺バス停の隣 社会福祉法人健光園内

◎ダイエー移動販売 毎週火曜日13時30分から14時10分嵯峨野ケアセンター「そよ風」玄関前

◎ダイエー移動販売 毎週火曜日14時30分から15時健光園玄関前

【注】以上の予定は諸事情により変更となる場合があります。